

臨床透析 ● 総目次

第 38 卷

Vol.38 No.1~No.13

(2022 年 1 月号~12 月号)

● 特 集

《特集一覧》

- | | | | |
|--------|---|-------|----------------------------------|
| 1 月号 | 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう | 7 月号 | もっと知ろう 透析室での腎移植問題
—腎移植と透析の移行期 |
| 2 月号 | 腎性貧血治療の課題と対策
—HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐって | 8 月号 | 痛みを訴える透析患者にどう対応するか |
| 3 月号 | 多職種連携による透析医療 | 9 月号 | 透析医療の gender diversity |
| 4 月号 | 便秘と慢性腎臓病・透析医療 | 10 月号 | 腎不全に携わる看護職のキャリアを考える |
| 5 月号 | 透析療法における各種モニタリングの Front line | 11 月号 | 透析患者の栄養状態と生活評価 |
| 6 月号 | CKD 診療における漢方と補完代替療法 | 12 月号 | 透析患者の認知症
—診断・予防・治療・見合わせ・CKM |
| 7 月増刊号 | バスキュラーアクセス
—作製・管理・修復の基本方針 2nd Edition | | |

■ 1 月号 (vol.38 no.1) 透析患者の心臓病 —診療の最前線を学ぼう

- 企画のねらい
- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------|-------|
| | 加藤 明彦 | 7~8 |
| 1. 心疾患の生理機能検査 | 長井幸二郎 | 9~14 |
| 2. 心疾患の画像検査 | 鈴木 康之・天野 康雄 | 15~20 |
| 3. 心 不 全 | | |
| (1) メカニズムと診断法 | 有里 哲哉・吉原 史樹 | 21~28 |
| (2) 薬物療法 | 渡邊健太郎・藤井 秀毅 | 29~34 |
| (3) 非薬物療法 (非侵襲的陽圧換気療法, 心臓再同期療法, 和温療法) | 長谷川奏恵・茅田 浩 | 35~41 |
| 4. 冠動脈疾患 | | |
| (1) 冠動脈石灰化と薬物・透析治療 | 猪阪 善隆 | 43~48 |
| (2) 透析患者の経皮的インターベンション治療 | 伊莉 裕二 | 49~55 |
| (3) 透析患者における冠動脈バイパス術 | 木下 武・鉢呂 康平
鈴木 友彰・浅井 徹 | 57~62 |

- | | | |
|---|-------------|-------|
| 5. 透析患者における大動脈弁狭窄症に対する経カテーテルの大動脈弁植込み術の現状と課題 | 前田 孝一 | 63~66 |
| 6. 肥大型心筋症の診断と治療—閉塞性肥大型心筋症を中心に | 秋田敬太郎・前川裕一郎 | 67~72 |
| 7. ファブリー病 | 酒巻 裕一・丸山 弘樹 | 73~79 |
| 8. 心臓リハビリテーション | 安達 理・上月 正博 | 81~87 |

■ 2 月号 (vol.38 no.2) 腎性貧血治療の課題と対策 —HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐって

- | | | |
|------------------------------|----------------------|---------|
| 1. 腎性貧血の発症機序と診断 | 宮内健一郎・山本 多恵
鈴木 教郎 | 111~118 |
| 2. 一般論としての貧血治療の必要性 | 下山皓太郎・小林 賛光
山本 裕康 | 119~124 |
| 3. 鉄欠乏と鉄過剰の問題点 | 土谷 健・小川 千恵 | 125~130 |
| 4. 長時間作用型 ESA vs. 短時間作用型 ESA | 濱野 高行 | 131~137 |

5. ESA 低反応性は克服可能か	鶴屋 和彦	139~148	(5) フレイル・サルコペニアを有した 高齢透析患者への栄養介入—管 理栄養士の役割	小川 晴久	272~277
6. HIF-PH 阻害薬により発現誘導され る分子—実験データより	菅原 真衣	149~154	(6) 地域医療における保健師の役割	石川 祥子	278~282
7. HIF-PH 阻害薬による腎性貧血治療 の実際	林 晃正	155~160	(7) 地域医療における医療ソーシャル ワーカーの役割	宮原 和沙	283~287
8. HIF-PH 阻害薬処方から懸念される 病態	内田 啓子	161~167	(8) 臨床心理士・公認心理師の役割	中村菜々子	288~292
9. HIF-PH 阻害薬に期待される腎性貧 血以外の病態	武田 憲彦	169~172	(9) 腎臓病患者に対する訪問看護の役 割—患者が自分らしく生きるた めの支援	藤井 亜美・水内 恵子 松岡 一江・梶本 宗孝 安田 透・池田 潔	293~298
10. 腎性貧血治療時の Hb 変動とフェリ チン変動	倉賀野隆裕	173~178	(10) 腎移植希望者に対するレシピエ ント移植コーディネーターの役 割	山上 孝子・松岡 裕 打田 和治	299~303
11. 腎性貧血治療時の静注鉄剤 vs. 経口 鉄剤	加藤 雅典・緒方 浩顕	179~186	(11) 在宅腹膜透析患者を支えるため の多職種連携	大川 明子・小林奈津美 梅田 徳男・伊藤 薫	304~310
[コラム]					
・ESA バイオシミラーについて	稲熊 大城	138			
・亜鉛欠乏と貧血	阿部 伸一・西野 友哉	187			

■ 3月号 (vol.38 no.3) 多職種連携による透析医療

1. 地域医療における多職種連携とその 進め方	小谷 和彦	219~225
2. 透析医療における多職種連携 (チー ム医療)		
(1) 過去・現在・未来	山川 智之	227~232
(2) 入院・外来・介護	山口 聡・佐藤 陽 栗田 智子・三橋 洋 大西 俊正	233~239
(3) 訪問診療	樋口千恵子・森田 智子 柴垣 圭吾	240~246
3. 透析医療における多職種連携—職種 別の役割		
(1) 看護師の役割	宮下 美子	247~253
(2) 臨床工学技士の役割	山下 芳久	254~260
(3) 薬剤師と多職種連携	中村 和彦	261~266
(4) 理学療法士の役割	大原 佳孝・前田 純依 白川 優子	267~271

■ 4月号 (vol.38 no.4) 便秘と慢性腎臓病・透析医療

1. 便秘の疫学	高島 弘至・阿部 雅紀	331~336
2. 便秘の定義, 分類, 診断, 機序	中島 淳	337~342
3. 便秘と QOL	神田 怜生	343~349
4. 慢性腎臓病・透析患者と便秘	間瀬かおり・山縣 邦弘	351~356
5. 便秘, 腸内細菌叢, 長期予後	菊地 晃一・阿部 高明	357~365
6. 便秘を起こしやすい薬剤	山本 和宏	367~371
7. 便秘の薬物療法	亀井 大悟	373~379
8. 便秘を防ぐ食事療法	小田 浩之・伊藤 明美	381~388
9. 便秘を防ぐ生活習慣改善と運動療法	長谷川 信・和田 直樹	391~395
10. 慢性便秘症の専門的検査と専門施設 への紹介基準	味村 俊樹・本間 祐子 堀江 久永	397~407

[コラム]

- ・甘酒の便秘改善効果

上原 由美 389~390

■ 5月号 (vol.38 no.5) **透析療法における各種モニタリングの Front line**

1. モニタリング評価の適応と意義
山下 芳久 439~445
2. 各種モニタリング評価のエビデンス
花房 規男 447~454
3. 循環血液量モニタ
(1) ブラッドボリューム (BV) 計
牧尾 健司 455~460
(2) 血液モニタ (BLM)
大谷 浩一・鈴木 知佳 461~466
(3) 血液モニタ (BMS)
田中 進一 467~471
(4) CSM (Crit Sign Monitor)
岩尾 昌之 472~476
4. 透析量モニタ
(1) DDM (Dialysis Dose Monitor)
森實 篤司 477~482
(2) 透析液排液モニター標準化透析量 (Kt/V) 監視機能
五十嵐一生 483~487
5. 循環動態モニタ
(1) HD03
岡本 裕美 489~494
(2) ポケット LDF
齋藤 慎 495~499
(3) エスクロンミニ
安部 貴之 500~506
6. 身体組成分析装置
(1) InBody S10
上野 幸司・井上 真
草野 英二・齋藤 修
長田 太助 507~512
(2) BCM 体組成分析装置
村山 憲一・立川 裕 513~518
(3) MLT-550N
長尾 尋智 519~523
7. 超音波診断装置
(1) エコー下穿刺
松田 政二 525~530
(2) シェント・血管管理
人見 泰正 531~535

■ 6月号 (vol.38 no.6) **CKD 診療における漢方と補完代替療法**

1. 補完代替医療と統合医療
川嶋 朗 559~564

2. 維持透析患者の補完代替医療—外気功の効果の経験から
阿岸 鉄三 565~572
3. 漢方医学の基礎
三瀧 忠道 573~579
4. 漢方医学で考える「腎」とは
川添 和義 581~586
5. 保存期 CKD に対する漢方薬
小野 孝彦 587~595
6. 透析患者に対する漢方薬
和田健太郎 597~605
7. 透析患者に対する鍼灸治療
山口 智 607~612
8. 血液透析患者の愁訴に対する M-Test の活用
櫻庭 陽・平山 暁
森山 朝正 613~620
9. 透析患者に対するサプリメント
平田 純生 621~627
10. 腸腎相関と腎不全治療 (保存期および透析期) への応用
吉澤 寛道・長田 太助 629~636
11. 透析医療機関における人工炭酸泉浴の取り組み
山田 哲也 637~642

[コラム]

- ・漢方薬による腎障害

- 川越 宏文 643~644
- ・COVID-19 に対する漢方薬と新たなウイルス感染に対する戦略
小川 恵子 645~646
- ・COVID-19 に対する鍼灸治療と新たなウイルス感染への治療戦略—僅少の患者の鍼灸治療体験から
藤本 蓮風・油谷 真空
藤本 新風 647~648

■ 7月増刊号 (vol.38 no.7) **バスキュラーアクセス—作製・管理・修復の基本方針 2nd Edition**

- 序 文
伊丹 儀友 675~676
- 第1章 VA の現状
(1) 日本の VA の現状と今後の展望
川西 秀樹 685~690
(2) いつ VA を作製すべきか?
花房 規男 691~696
(3) AVF/AVG/CVC のそれぞれの利点と欠点
江里口雅裕・鶴屋 和彦 697~705
(4) 高齢者にとって最適な VA とは
大久保健太郎 706~715

(5) VA が心臓に与える影響 常喜 信彦・原田美菜子	716～721	宮田 昭	837～844
第2章 VA 作製前の準備評価		(2) カテーテル管理・血栓/脱血不良 野口 智永	845～851
(1) 作製前の全身評価 今 裕史・板倉 恒輝 大橋 慶太・高橋 遼 水上 達三・佐藤 文昭	723～728	第8章 VA 関連感染症と対策・治療 (1) カテーテル関連感染症—予防と治療 廣谷紗千子	853～864
(2) 血管評価 (エコー検査を含めて) 飯田 潤一・桐木 洋明 遠山 康平・小林 知弘 坂本 和也・櫛田 隆久 熊谷 文昭	729～738	(2) AVF/AVG 感染について—予防と治療 兵藤 透・柴原 伸久 石井 大輔・中倉 兵庫 吉田 一成	865～871
第3章 AVF 作製と管理の実際		第9章 患者教育・看護 (1) 患者教育—VA の発達, 保護, 日常管理について 松岡 哲平	873～882
(1) AVF の部位選択, AVF の標準法と変法 春口 洋昭	739～745	(2) 患者教育 (血管アクセスケアを含めて)—看護師の立場から 片村 幸代・増田めぐみ 門嶋 洋子	883～890
(2) AVF 作製と一次閉塞を防ぐ方策 池田 潔	746～752	第10章 VA トラブルの管理・対策 (1) AVG/AVF モニタリング 三輪 尚史・櫻井 寛 桃原 啓介・板倉 正幸 坪井 正人・佐藤 隆	893～900
(3) AVF 周術期対策 副島 一晃・江口 剛人 板井 陽平・早田 学 神吉 智子	753～762	(2) PTA の基本とカテーテルの選択 佐藤 隆・森脇 総治 坪井 正人	901～912
(4) AVF 再循環の評価と対応 北野 泰佑・森下 義幸	763～769	(3) 狭窄/閉塞 (PTA の方法) 清水 泰輔・佐野 達郎 安部 望・肥田 徹 小川 智也	913～930
第4章 AVG・動脈表在化作製と管理の実際		(4) 狭窄/閉塞 (外科的方法) 矢野健太郎・土田 健司	931～937
(1) AVG の作製方法/マテリアル 久木田和丘・杉山 昂 谷山 宣之・熱田 義顕 佐藤 正法・服部 優宏	771～776	(5) 瘤/血清腫 室谷 典義	938～944
(2) AVG を長く開存させるために 小鹿 雅隆	777～782	(6) 静脈高血圧 番匠谷将孝・川西 秀樹	945～950
(3) AVG のトラブル管理 深澤 瑞也	783～789	(7) スチール症候群 長沼 俊秀・武本 佳昭 黒木 慶和・内田 潤次	951～956
(4) 動脈表在化の方法・管理 佐藤 暢	790～795	(8) 過剰血流 野島 武久・本宮 康樹	957～968
第5章 穿刺法と管理の実際		(9) 中心静脈狭窄症および閉塞症 堀田 祐紀・役田 洋平 名村 正伸・池田 正寿	969～980
(1) アクセス穿刺と消毒 秋葉 隆	797～802	(10) アクセス関連疼痛 後藤 順一・高橋 宏明 堀江 卓・小野寺一彦 目黒 順一・米川 元樹	981～986
(2) 穿刺管理 高橋 孝幸・前波 輝彦	803～811	第11章 VA 関連事故 安藤 亮一	987～994
(3) ボタンホール穿刺法の利点と問題点 新里 高弘・當間 茂樹 柴田 和彦	812～819	第12章 小児における VA および VA 形	
(4) エコー下穿刺の実際と問題点 佐藤 純彦・佐久間宏治 内海 展子・川鍋 雄司 本庄美恵子・石塚 俊治	820～828		
第6章 AVF/AVG 作製・PTA 時の麻酔 松田 浩明	829～835		
第7章 カテーテル挿入と管理の実際 (1) カテーテルの挿入方法/部位/種類			

態と予後	幡谷 浩史	995～998
第 13 章 VA の形態と死亡率・合併症	伊丹 儀友・高崎 恵美	
	山下 直哉	999～1005
[コラム]		
・在宅血液透析の自己アクセス管理	鈴木 一裕	891～892

■ 7 月号 (vol.38 no.8) **もっと知ろう 透析室での腎移植問題ー腎移植と透析の移行期**

献腎移植登録・更新, 臓器提供意思表示について

	西 慎一	1019～1022
1. 最近の腎移植動向	祖父江 理	1023～1027
2. 高齢化している腎移植レシピエントとドナー	武田 朝美	1029～1034
3. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の腎移植への影響	湯沢 賢治	1035～1041
4. 透析室での脱感作療法と拒絶反応治療	河野 圭志	1042～1047
5. PEKTー移植時期決定と移植前後での CKD 合併症管理	後藤 憲彦	1048～1055
6. 血液透析患者の腎移植ー移植前後の管理法	升谷 耕介	1056～1063
7. 腹膜透析患者の腎移植ー移植前後の管理法	寺下 真帆・谷澤 雅彦	1064～1070
8. 透析再導入ー再導入前後の CKD 合併症管理	豊田麻理子	1071～1075
9. ハイリスクレシピエントとマージナルドナー	佐々木ひと美・日下 守 河合 昭浩・竹中 政史 全並 賢二・高原 健 住友 誠・白木 良一	1077～1085
10. SDM のなかでの腎移植選択 vs 透析選択	米本佐代子	1086～1090
11. 腎移植希望透析患者への移植コーディネーターと看護師の対応	仲宮 優子	1091～1098
12. 腎不全チーム医療協議会 (Kicos) の活動		

	河野 恵・野口 文乃 仲宮 優子・伊藤智恵子 小坂 志保	1099～1104
13. 日本臓器移植ネットワークへの移植希望登録	岩井 友明・長沼 俊秀 武本 佳昭・内田 潤次	1105～1109
[コラム]		
・生体腎移植ドナーの透析導入について	小口 英世・酒井 謙	1076

■ 8 月号 (vol.38 no.9) **痛みを訴える透析患者にどう対応するか**

1. CKD 患者にとって痛みとは	加藤 明彦	1139～1147
2. 痛みの定義と病態機序	杉浦 健之	1149～1154
3. 痛みの治療		
(1) 薬物療法	千葉 聡子・井関 雅子	1155～1164
(2) 非薬物療法ーリハビリテーション	森山 善文・矢部 広樹	1165～1170
(3) 非薬物療法ー神経ブロック	三枝 里江・齋藤 繁	1171～1175
(4) 鍼灸治療	川嶋 朗	1176～1182
4. 痛みへのケア	西山 陽子	1183～1188
5. 痛みとサイコネフロロジー	西村 勝治	1189～1194
6. 緩和ケアと痛み	有賀 悦子	1195～1200
7. 高齢者の痛み	竹下 克志	1201～1205
8. 透析患者に特有な痛みへの対応		
(1) シェント関連痛	土田 健司・中山 祐治 矢野健太郎・笠屋 拓也	1207～1210
(2) アミロイド関連痛	西 慎一	1211～1215
(3) 糖尿病末梢神経痛	田中 伸枝	1216～1220
(4) 虚血痛 (ASO)	日高 寿美・小林 修三	1221～1228

■ 9 月号 (vol.38 no.10) **透析医療の gender diversity**

性ホルモンと慢性腎臓病の gender diversity	西 慎一	1251
-------------------------------	------	------

1. 性差医療とは？	秋下 雅弘	1253～1258	3. 日本看護系大学協議会と連携したキャリア支援—慢性疾患看護専門看護師腎領域の活動の現状と課題	高井 奈美	1389～1394	
2. CKD 患者の性別多様性 (gender diversity)	西 慎一	1259～1263	4. 日本腎不全看護学会のキャリア支援の現状と課題	鳥居 芳行	1395～1400	
3. 日本透析医学会統計調査における性差	川口 祐輝・土谷 健	1264～1269	5. 認定看護師のキャリア形成と活躍—透析看護認定看護師の活動の現状と課題	徳田 勝哉	1401～1405	
4. 透析患者の寿命と死因の性差	稲熊 大城	1270～1274	6. 慢性腎臓病療養指導看護師のキャリア形成と活躍—慢性腎臓病療養指導看護師の活動の現状と課題	山口 洋子	1407～1410	
5. 腎原疾患と透析合併症の性差	西尾 妙織	1275～1282	7. 多職種協働によるキャリア支援	(1) 腎代替療法専門指導士創設による看護職への期待	中元 秀友・神山 雄基 時田 一・青柳龍太郎	1411～1419
6. 検査データの性差	椿原 美治	1283～1288	(2) 腎臓病療養指導士創設による看護職への期待	要 伸也	1420～1425	
(1) 腎性貧血	村島 美穂	1289～1292	8. 総合病院腎センターにおける看護職員のキャリアアップ支援の現状と課題	渋谷 紋子	1426～1430	
(2) CKD-MBD	加藤 明彦	1293～1300	9. 腎専門病院における看護職員のキャリアアップ支援の現状と課題	上村志磨子	1431～1435	
7. 栄養障害, サルコペニア・フレイル, 認知症の性差	中山 昌明・丸山 之雄	1301～1308	10. クリニックにおける看護職員のキャリアアップ支援	(1) グループクリニックの現状と課題	山内 要	1436～1440
8. 家庭・社会環境を巡る性差	日ノ下文彦	1309～1316	(2) 単独クリニックの現状と課題	守屋 洋子	1441～1444	
(1) 透析患者の就業	濱田千江子	1327～1332	[コラム]	・資格取得による診療報酬加算と看護		
(2) 高齢透析患者の介護や通院に関する特徴について			・日本女性腎臓病医の会 (JSWN)	— 設立 20 年に向けた展開		
9. 透析医療スタッフの gender diversity	武曾 恵理	1333～1334	・TSUBASA PROJECT と性差医療			
(1) 透析看護師	森石みさき	1335～1336				
(2) 透析臨床工学技士						
(3) 透析担当医・専門医						

■ 10 月号 (vol.38 no.11) 腎不全に携わる看護職のキャリアを考える

看護師資格に限定した慢性腎臓病関連資格制度一覧

1. 看護者のキャリア形成の考え方	下山 節子	1368
2. 日本看護協会と連携したキャリア支援—特定行為研修を包含した腎不全看護認定看護師の現状と課題	三村 洋美・多久和善子 田村 由衣	1371～1379 1381～1388

■ 11 月号 (vol.38 no.12) 透析患者の栄養状態と生活評価

1. 実臨床における現状分析	
(1) 透析患者に求められている栄養管	

理のあり方	齋藤かしこ	1475～1478	(5) 食が細くても栄養状態が維持でき ている患者の食事	長谷川由起・岡崎奈津代	1559～1561
(2) 透析医療が多様化する時代での食 事ガイドラインの活かし方	細島 康宏・蒲澤 秀門	1479～1487	(6) コンビニエンスストアを活用して 生活している高齢者の食事	島居 美幸	1563～1567
2. 実臨床における評価			[コラム]		
(1) 安定した長期透析を維持するため の生活評価法（食事からの栄養摂 取量）	北林 紘・竹内佳乃子	1488～1494	・新しい食品あれこれー慢性腎臓病 患者向けの食品	市川 和子	1569～1570
(2) 検査値から栄養摂取量を推定する 方法	小田 浩之	1495～1498	■ 12月号 (vol.38 no.13)		
(3) 口腔状態・嚥下機能の把握	浅井加奈枝・藤田 美晴 幣 憲一郎	1499～1503	透析患者の認知症ー診断・ 予防・治療・見合わせ・CKM		
(4) 消化吸収状態の把握	徳丸 季聡・遠山 直志 岩田 恭宜	1504～1508	1. 認知症の定義と分類	浦上 克哉	1595～1599
(5) 認知能力の把握	村山 稔子・細島 康宏 蒲澤 秀門	1509～1512	2. 透析患者における認知症の疫学と特 徴	佐々木けやき・庄司 哲雄	1601～1607
(6) 生活・活動状態の把握ー生活お よび睡眠、日常生活の質的評価法	石川 祐一	1513～1516	3. 透析患者における認知症の診断と鑑 別すべき疾患	中村 祐	1609～1613
(7) 栄養摂取量の状態の把握	川畑 奈緒	1517～1522	4. 透析患者の認知症の危険因子とその 予防	庄司 哲雄	1614～1623
(8) 身体機能や日常生活動作の把握	郡山 雄大・吉田 朋子	1523～1525	5. アルツハイマー型認知症の治療・予 防のための血液透析	長谷川みどり	1624～1629
(9) 経済状況の把握	市川 和子	1526～1531	6. 透析患者の認知症に対する薬物療法	三浦 渉・西村 勝治	1630～1636
(10) 社会支援の把握	土井 悦子	1532～1535	7. 透析患者に対する運動療法ー認知機 能への効果を中心に	音部 雄平	1637～1643
(11) 早期介入による患者支援の試み	山本 晃永・富澤 尚美 早園みのり・島崎 尚子	1536～1539	8. 認知症透析患者に対する看護・介護 のポイント	田村 由衣・小松崎記妃子	1644～1649
3. 実践レポート			9. 透析患者の身体拘束の現状	城間久美絵	1650～1654
(1) 独居男性高齢透析患者の食生活と QOL	小林 恵	1540～1544	10. 安全性と倫理面についてー看護の 立場から	久貝波留菜	1655～1658
(2) デイサービス・ヘルパーの支援を 受けながら生活している患者の食 事内容	細江千佳子・朝倉 洋平 小山 寛一	1545～1549	11. 認知症透析患者に対する多職種連携	大坪みはる	1659～1664
(3) 口腔状態/嚥下状態の把握を行 い、食事の工夫をした患者	射場裕美子	1550～1553	12. 認知機能低下を有する透析患者の食 事・栄養療法	加藤 明彦	1665～1672
(4) 過疎地で買い物に苦労する患者の 食事	大津明日美・松永 智仁	1555～1558	13. 認知症透析患者に対する腹膜透析	原田 健司・金井 英俊	1673～1677
			14. 認知症透析患者に対する透析終了と 保存的腎臓療法 (CKM)	小坂 志保・酒井 謙	1678～1683

●OPINION

1月号 (vol.38 no.1)			長田 太助	557～558
新しい腎臓病治療薬への期待	鶴屋 和彦	5～6		
2月号 (vol.38 no.2)			酒井 謙	1017～1018
適切な保存的腎臓療法 (CKM) 実施への道程	安田 隆	109～110		
3月号 (vol.38 no.3)			石田 真理	1137～1138
どうしても腎移植を勧められない先生方へ	原田 浩	217～218		
4月号 (vol.38 no.4)			土井 研人	1369～1370
生体の恒常性維持と抑制性調節—「寡黙な腎臓」の妙	向山 政志	329～330		
5月号 (vol.38 no.5)			土谷 健	1473～1474
良性腎硬化症は透析導入原疾患か?	山縣 邦弘	437～438		
6月号 (vol.38 no.6)			中川 直樹	1593～1594
新専門医制度と透析専門教育の今後の展望				
7月号 (vol.38 no.8)				
戦争と人工臓器				
8月号 (vol.38 no.9)				
それでも、前進あるのみ				
9月号 (vol.38 no.10)				
二刀流				
10月号 (vol.38 no.11)				
理に適った医学・医療とは				
11月号 (vol.38 no.12)				
Diversity & Inclusion と SDGs				
12月号 (vol.38 no.13)				
効率の良いファブリー病スクリーニング				

●症例による透析患者の画像診断

1月号 (vol.38 no.1)			西野 友哉	416～419
腹膜透析離脱後に腎被膜下出血をきたし、腎動脈塞栓術を施行した血液透析患者の1例	岩崎 隆英・大仲 慶 宮内 和歩・倉賀野隆裕	88～93		
2月号 (vol.38 no.2)				
透析アミロイドーシスが原因と考えられた大腿骨頸部骨折の1例	向江 翔太・河野 圭志 石井 圭・岡本 隼樹 渡邊健太郎・藤井 秀毅 西 慎一	195～200		
3月号 (vol.38 no.3)				
<i>Mycobacterium goodii</i> による出口部感染から腹膜炎に至った腹膜透析患者の1例	岩崎 慧・河野 圭志 岡本 英久・渡邊健太郎 坂本 和雄・藤井 秀毅 西 慎一	317～322		
4月号 (vol.38 no.4)				
維持透析患者に合併した感染性大動脈瘤の1例	阿部 伸一・池見 裕太			
8月号 (vol.38 no.9)				
^{99m} Tc-MIBI シンチグラムにより再発性副甲状腺機能亢進症の局在を確定した1例	久木田和丘・後藤 順一 杉山 昂・谷山 宣之 熱田 義顕	1238～1241		
9月号 (vol.38 no.10)				
両側腎周囲に巨大後腹膜脂肪肉腫を生じた長期血液透析患者の1例	和田 篤志・大山 哲平 石田 裕則・堀 淳一 谷野美智恵	1358～1362		
10月号 (vol.38 no.11)				
単純 CT にて食道内に炭酸ランタンを含む食塊が観察された食道裂孔ヘルニア合併透析患者の1例	茂庭 仁人・嶋村昌之介 前田 卓人・滝沢 英毅	1453～1456		
11月号 (vol.38 no.12)				
人工血管グラフト感染が原因と考えられる維持透析患者の腸腰筋膿瘍の1例	今 裕史・佐野 峻司 津坂 翔一・水上 達三	1576～1580		

●ケース・スタディ

2月号 (vol.38 no.2)

弛緩出血後に急性腎障害を発症した1例

小林 敬・中田 真実
武藤 正浩・鈴木 祐介 189~194

3月号 (vol.38 no.3)

全身倦怠感と軽度の見当識障害を認め低血糖発作を呈した維持血液透析患者の1例

對馬 英雄・鮫島 謙一
加知 直樹・玉城 裕行
江里口雅裕・鶴屋 和彦 311~316

4月号 (vol.38 no.4)

高度腎機能低下を伴う肺炎で入院した高齢患者の1例

藤井健太郎・関 彩千子
杉 渉・田村 郁恵
加藤 亜唯・吉藤 歩
小松 素明・橋口 明典
竜崎 崇和 408~415

6月号 (vol.38 no.6)

高度貧血に対して精査がなされないまま透析導入となった1例

石井 公祥・大山 悦子
牧野 慎市・若林 華恵
辰元 為仁・相澤 昌史
浅沼 克彦 649~656

7月号 (vol.38 no.8)

腸閉塞を繰り返す腹膜透析患者の1例

越川 佳樹・近藤里佐子
志賀 知彦・宮地 博子
小島 昌泰・朝田 啓明 1115~1122

9月号 (vol.38 no.10)

難治性腹膜透析関連腹膜炎の1例

辻岡 卓也・山中 正人
宇都宮聖也・喜多 秀仁
林 泰樹・三宅 毅志
泉 和良・藤原 敦子
川西 泰夫 1352~1357

●話題・論点

1月号 (vol.38 no.1)

新型コロナウイルス感染症—臨床工
学技士の活動

相嶋 一登 94~97

●研究・報告

2月号 (vol.38 no.2)

〔症例報告〕選択的血漿交換療法で凝固因子を温存しながら抗GBM抗体を除去できたMPO-ANCAおよび抗GBM抗体陽性急速進行性糸球体腎炎の1例

畑中 雅喜・今井 洋輔
大森 弘基・飯尾健一郎
安東 豊 205~209

4月号 (vol.38 no.4)

〔症例研究〕血液透析患者の高度石灰化

を伴う腸骨動脈閉塞病変に対しステントグラフトによる血行再建を行った1例

成山 真一・三木孝次郎
吉原 永貴・申 輝樹
上岡 美保・北島 智
三上 達也・神頭 真理
北川 聡・森野 隆広
粕本 博臣・澁谷 浩二
中西 健 424~430

●CKD患者に推奨されるワクチン接種

1月号 (vol.38 no.1)

肺炎球菌ワクチン

柴田 俊章・伊東 宏晃 421~423
安藤 亮一 98~102

2月号 (vol.38 no.2)

A型肝炎およびB型肝炎

ワクチン手帳 藤倉 知行 545~548
洞 和彦 201~204

4月号 (vol.38 no.4)

ヒトパピローマウイルスワクチン

6月号 (vol.38 no.6)

水痘および帯状疱疹ワクチン

石垣さやか 665~667

●透析患者の薬，どう使いわける？

5月号 (vol.38 no.5)	横山啓太郎	1123～1129
1. 高カリウム血症治療薬		
加藤 明彦	537～544	
6月号 (vol.38 no.6)		
2. リン吸着薬		
小岩 文彦・梶谷 英人	657～664	
7月号 (vol.38 no.8)		
3. カルシウム受容体作動薬 (カルシ ミメティクス)ーシナカルセト， エテルカルセチド，エボカルセト， ウパシカルセト		
9月号 (vol.38 no.10)		
4. 透析患者における骨粗鬆症治療		
谷口 正智	1343～1351	
10月号 (vol.38 no.11)		
5. 透析困難症に対する治療薬		
大竹 剛靖・小林 修三	1462～1466	
11月号 (vol.38 no.12)		
6. 糖尿病治療薬		
潮 雄介・星野 純一	1581～1586	

●HIF-PH 阻害薬への期待と懸念

7月号 (vol.38 no.8)		
下肢虚血疾患における HIF-PH 阻害 薬使用の留意点		
徳山 博文・井上 博之 坂巻 裕介	1110～1114	
8月号 (vol.38 no.9)		
腎機能保護薬としての期待と懸念		
辻田 誠	1229～1233	
9月号 (vol.38 no.10)		
心肺保護薬としての期待と懸念		
坂本 和雄・西 慎一	1337～1341	
10月号 (vol.38 no.11)		
糖代謝・脂質改善作用に対する期待と 懸念		
細島 康宏・蒲澤 秀門 成田 一衛	1457～1461	
11月号 (vol.38 no.12)		
サルコペニア・褥瘡に対する期待と懸 念		
小林 静佳・星野 純一	1571～1575	
12月号 (vol.38 no.13)		
VEGF 増加による期待と懸念		
桑野 克久・小畑 陽子 阿部 伸一・西野 友哉	1685～1690	

●透析食のレシピ

1月号 (vol.38 no.1)		
魚のホイル焼き／ほうれん草の白和え		
細江千佳子	4	
2月号 (vol.38 no.2)		
散らし寿司／充填豆腐と冷凍ほうれん 草の白和え		
根岸 美幸	108	
3月号 (vol.38 no.3)		
鶏ハムカレー風味／ピクルス		
増田えり子	216	
4月号 (vol.38 no.4)		
ツナの和風パスタ／キャベツのアンチ ョビマリネ		
伊藤 洋平	328	
5月号 (vol.38 no.5)		
さばと揚げなすの煮つけ／スペイン風 厚焼き玉子		
長谷川由起	536	
6月号 (vol.38 no.6)		
茶碗蒸し／ミルク葛餅		
村瀬 貴子	556	
7月号 (vol.38 no.8)		
かつおフレークと野菜のレンジ蒸し／ 南瓜の煮物／なめ茸和え		
粕壁美佐子	1016	
8月号 (vol.38 no.9)		
豚肉のもやし巻き		
奥田 絵美	1136	
9月号 (vol.38 no.10)		
肉団子と野菜の甘酢炒め		
奥田 絵美	1342	
10月号 (vol.38 no.11)		
チキンピラフ／筑前煮		
小林 恵	1451	
11月号 (vol.38 no.12)		
たぬきおにぎり／豚肉のカレー焼き		

12月号 (vol.38 no.13)	守屋 淑子	1472
てりまヨ豚丼	中山真由美	1592

●letter to editor

6月号 (vol.38 no.6)	山本 和宏	668
-------------------	-------	-----

●追 悼

9月号 (vol.38 no.10)		
秋葉 隆先生を送る	鈴木 正司	1248

本誌の本年1年間の編集委員，編集協力者は以下のとおりです。また，本誌の刊行にあたりご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。〔(株)日本メディカルセンター〕

■編集委員

鈴木 正司	伊丹 儀友	小松 康宏	西 慎一	中山 昌明	加藤 明彦
花房 規男	鶴屋 和彦	下山 節子	佐藤 久光	中原 宣子	三村 洋美
市川 和子	齋藤かしこ	山下 芳久	秋葉 隆 (故人)		

■編集顧問

川口 良人	浅野 泰	(敬称略)
-------	------	-------

■創刊以来ご尽力いただいた歴代編集委員

前田 貞亮 (故人)	黒川 清	佐藤喜一郎	中川成之輔 (故人)
酒井 糾 (故人)	大平 整爾 (故人)	平澤 由平* (故人)	
春木 繁一* (故人)	落合 福江	吉岡 典	足立 悦子
安西志保子	川崎 忠行	赤間 立枝	白井 昭子

(敬称略，*：特別編集委員)